

三芳町伝統芸能

第15回

竹間沢車人形公演

埼玉県芸術文化祭2016地域文化事業

演目

山椒太夫

日本のふしぎ話より

越後の兄弟

寿式三番叟、車人形教室

埼玉県指定有形民俗文化財、三芳町指定無形民俗文化財

平成28年 12月18日

開演13時30分 (開場13時)

コピスみよし (三芳町文化会館) ホール

■料金■ 全席自由席 ※未成年はご鑑賞いただけません
大人：1000円 小中学生：300円 (前売・当日券)

■チケット取り扱い■

コピスみよし (三芳町文化会館) ☎049-259-3211

三芳町立歴史民俗資料館 ☎049-258-6655

チケットショップファミリーダイエー三芳店 ☎049-259-9587

■お問い合わせ■

コピスみよし (三芳町文化会館) ☎049-259-3211

埼玉県人間郡三芳町大字藤久保1100番地1

※公演中の写真撮影は固くお断りいたします。
※昼食時は館内レストラン営業もしておりますのでご利用ください。

受継がれる灯、竹間沢車人形。

明治時代に全盛期を迎えた後、半世紀もの間途絶えた車人形の今があるのは、活動を支えてくれる人、そして何より舞台を楽しんで観てくれる人たちがいるから。

受け継がれてきた車人形の灯は、今も町の人々の心にともっています。



寿式三番叟

ことぶき しき さん ぼ そう
寿式三番叟は、舞台を清める舞で、その日の舞台を無事に務めあげられますようにと願いを込めて、舞台の幕開けに舞います。悪霊を大地に踏み鎮め、豊作と健康を祈願する舞でもあります。

日本のふしぎ話より

越後の兄弟

「日本のふしぎ話」(童心社刊)
川崎大治作「越後の兄弟」より

「まんが日本昔ばなし」の題材としても取り上げられた、親子や兄弟の絆を描いたこの作品。今年も、一昨年そして昨年に引き続き、「人形遣い」を公募で集まったメンバーに保存会が加わった形で上演いたします。

さらに今年には講師・宝井梅福が加わり、「講談」+「車人形」という新しい試みにも挑戦します。応募参加者の新鮮な演技と、講談とのコラボレーションをお楽しみください。

車人形教室

「車人形」の構造や操り方を説明し、舞台上上がって実際に、人形遣いを体験していただきます。 ※舞台上上がる方をその場で募集します。

山椒太夫

さん しゅう だ ゆう
直井の浦・母子別れの段
鳴子の唄・母子対面の段

岩城の判官正氏の子、安寿の姫とその弟・厨子王丸は、この世にはもういないと思っていた父・正氏が、帝の怒りを被って流刑となり、筑紫の安楽寺にて辛い思いをしているということを母から知らされるのでした。それを知った姉弟は、帝に許しをこうて奥州五十四群の主となる決意をし、心配する母と乳母うわたぎと共に都へ旅立ちます。

大正四年に森鷗外が説経節の「さんせう太夫」をもとに小説として発表した事、さらに昭和二十九年に映画化された際に、ヴェネツィア国際映画祭で銀獅子賞を受賞し国際的な評価を受けた事等から、世界中の多くの人々にも知られることとなったこの「山椒太夫」。しかし、そもそもは「五説経」という、説経節の代表的な作品の一つに数えられ、古くから説経師達に語り継がれて来た作品です。今回の竹間沢車人形公演での上演は、実に平成十九年公演以来となります。



竹間沢車人形保存会

ちくまざわくらまにんぎょう ぼんかい
竹間沢車人形は、竹間沢村の神楽師前田左近が江戸の末期から明治にかけて、自ら車人形の頭や道具を作り、それまでの小さな人形を使っていた人形芝居から車人形に切り替え、吉田三芳の芸名で「吉田三芳一座」として、盛んに興行をおこなった人形芝居です。その後、息子の前田民部を受け継がれましたが、大正時代になり浪曲、映画などに押されて衰退し、大正十年頃に興行が途絶えてしまいました。その後、昭和四十五年に埼玉県の調査により、前田家の納戸から車人形が発見されたのがきっかけで、昭和四十七年に五十年ぶりに復活公演が実現しました。それから四十数年、保存会は竹間沢車人形を守り継いでいます。



説経節 三代目若松若太夫

わかまつわかたろう
昭和三十九年埼玉県所沢市に生まれ、國學院大学在学中の平成元年に二代目若松若太夫に入門します。平成二年に若松若太夫、平成七年に若松小若太夫、平成十年に三代目若松若太夫をそれぞれ襲名します。平成十一年に二代目が没すると、翌十二年に東京都無形文化財保持者に認定されました。現在は、板橋区を拠点に「郷土芸能伝承館」での説経節の会にて、説経節の伝承に努めています。



講談 宝井梅福

たからいづめかき
北海道羽幌町出身。平成九年十二月に宝井琴梅に入門し、平成十年より宝井梅星の芸名にて前座修業を開始します。平成二十二年に真打昇段し、梅星改め梅福となりました。古典講談から新作オリジナル講談まで幅広いレパートリーを持ち、各種イベントや毎年開催している「梅福の会」や浅草演芸ホール中席「納涼住吉踊り」への出演など、活動は多岐に渡っています。

応募参加者のみなさん

今年の公演稽古に入るにあたり、広報みよし六月号にて「人形遣い」「サポーター」の募集をおこないました。集まった計六名が、様々な形で協力し合い、稽古を重ねて本日の公演を迎えます。

コピスみよし (三芳町文化会館)

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100-1
電話：049-259-3211 FAX：049-259-3244
http://www.miyoshi-culture.jp/coppice/